



「体験の風をおこそう」運動エントリーのお願い

～子供のころの体験は豊かな人生の基盤になります～

社会全体で子どもの体験活動を推進しその機運を高めていくため、毎年９月～１１月を「体験の風をおこそう推進月間」と定め、子どものための体験活動に関する様々な事業やフォーラムなど全国の関係団体等が一体となって実施しており、今年度で７年目を迎えます。

北海道では、北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会（事務局：国立大雪青少年交流の家（以下、「交流の家」という）において、本運動の普及啓発に努めています。

関係の皆様におかれては、本運動月間（９月～１１月）における以下の関連事業の登録に御協力いただき、北海道に体験の風をまきおこしましょう！

<エントリー事業の例>

体験活動であれば様々な事業がエントリーの対象となります。

- 教育委員会等主催の事業
- 地域のイベント（子供会のキャンプ、伝統文化に関する体験活動など）
- 図書館等における読書イベント
- 幼稚園、保育園などの早寝早起き朝ごはん普及啓発イベント
- 通学合宿などにおける自然体験、調理体験 etc



北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会
（国立大雪青少年交流の家事業推進室）

自然体験塾2012

体験の風をおこそう

愛別町

場 所 きのこの里愛別オートキャンプ場

実施日 平成24年8月8日～10日

〈愛別町・鷹栖町・士幌町合同リーダー研修〉



牛乳パックを使ってホットドック!!



自然に目を向けると再発見がいっぱい



危険予知トレーニング「不安だな～」



3町の仲間と交流を深め「ハイ 体験!!」





月形チャレンジニューススポーツ

体験の風をおこそう

月形町

場 所 月形町総合体育館アリーナ

実施日 平成24年 9月 8日(土曜日)



スポーツ吹き矢の説明を聞いて



初めてのスポーツ吹き矢に挑戦

体験の風をおこそう

チャレンジニューススポーツ



体育協会が初めて企画したスポーツ交流



3世代がふれあい楽しみました



五色綱引き、チームワークで勝利目前



おめでとう！2個目のメダルゲット



根室管内子ども子ども会リーダー研修



遊びりんピック説明

体験の風をおこそう
羅臼町

運命ゲーム、当たってくれ!!

場 所 羅臼町民体育館
実施日 平成24年9月17日



体験の風をおこそう

鷹栖町

場 所 鷹栖町北斗地区住民センター

実施日 平成24年 9月17日～21日

地域のおじさんおばさん ありがとう



どう？ なかなかの包丁さばきでしょう



地元スーパーで朝食の食材購入中



予算の中で足りるかな～

わくわくチャレンジ合宿

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道音更町



事業名 エコパ冒険キャンプ
主催 一般財団法人十勝エコロジーパーク
期日 平成25年8月31日～9月1日
会場 十勝エコロジーパーク
参加者 小学校4年生～6年生（30名）
区分「キャンプ」
支援者 室長 佐藤 香
内容 オリジナル缶バッジづくり
ロープワークを活かした小物づくり
体力向上体操・アフリカン太鼓体験

【テーマ】

生活の拠点をつくろう
森の中で探検しよう
初めてにチャレンジしよう

【成果】十勝管内の広域から集まった小学生にとって、テント設営、調理、集団遊びなど、野外活動の様々な体験プログラムをとおして、技術獲得のきっかけが育まれた。ボーイスカウトのボランティアの支援によって、安全教育も盛り込まれ充実した展開となった。



エコパ 冒険キャンプ

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道根室市

事業名 根室市放課後子ども教室
主 催 根室市教育委員会
期 日 平成25年9月4日(水)
会 場 北斗小、花咲小、歯舞児童教室
参加者 小学校1年生～3年生 (130名)
区 分 「放課後子ども教室」
支援者 企画指導専門職 伊藤 睦郎
総務係主任 遠藤 威宏
内 容 遊びリンピック

【テーマ】

楽しく・最後までチャレンジ
スポーツへの関心
児童の体力向上

【成果】メダルに執着する一方で、ルールを守って子供が競技をしており、フェアプレイで競技に臨む真摯さが見られた。
放課後教室の担当者には、当取組の提供
供が今後の運営にいい刺激になったとの声
をいただいた。



根室市放課後子ども教室

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道奥尻町

事業名 奥尻町子どもナイト☆ミーティング
主催 奥尻町教育委員会、檜山教育局
期 日 平成25年9月7日～9月11日
会 場 奥尻町町民センター
参加者 小学校5年生～6年生（11名）
区 分 「通学合宿」
支援者 総務係主任 遠藤 威宏
事業推進室 大畑 裕矢
内 容 アイスブレイク
交流学習
体育プログラム

【テーマ】

- ・集団生活をする中で仲間と協力する思いやりの心を育む
- ・自らチャレンジする心を培う
- ・規則正しい生活をおくる事で日ごろの生活リズムを整える

【成果】

・後片付けなどの手伝いをすすんで行ったり、仲間を助ける「思いやり」の態度が見られた。
また、大人と子どもが一緒に同じ課題に取り組み、達成感を共有できた事で体験プログラムがより充実した内容に昇華した。



子どもナイト☆ミーティング

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道千歳市

事業名 サーモンツアー 早起きはサーモンの徳
主催 公益財団法人千歳青少年教育財団
期 日 平成25年10月13日～10月14日
会 場 千歳サケのふるさと館
参加者 小学校4年生～6年生（38名）
区 分 「キャンプ」
支援者 室長 佐藤 香
内 容 サケの体のつくり・サケづくし調理体験
サーモン遊びリンピック
生活リズム・異学年交流

【テーマ】

ともだちをつくろう
ご飯をしっかり食べよう
サケを知ろう

【成果】「サケ」をテーマに、栄養と休養の重要性をプログラムに盛り込んだ。ボランティアの支援によって参加した子供たちの自主性やチャレンジすることの大切さが育まれた。調理体験では、鮭1本を全て食事のメニューにするなど地域性も重視され、理解を深められた。



早起きはサーモンの徳

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道天塩町

事業名 放課後子ども教室
主催 天塩町教育委員会
期 日 平成25年10月25日(金)
会 場 天塩町ファミリースポーツセンター
参加者 小学校1年生～3年生 (25名)
区 分 「放課後子ども教室」
支援者 企画指導専門職 伊藤 睦郎
管理 係 河内 洋佑
内 容 遊びリンピック

【テーマ】

楽しくチャレンジ
最後までチャレンジ
順番を守って仲良く

【成果】見ている子供が、競技をしている子供を一生懸命に応援する姿が見られた。
チャレンジすることの楽しさだけでなく、思いやりの心も育むことができた。



天塩町放課後子ども教室

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道帯広市

事業名 第57回帯広市PTA連合会研究大会

主催 北海道PTA連合会

帯広市PTA連合会

期 日 平成25年10月26日(土)

会 場 とかちプラザ

参加者 市内小中学校PTA

区 分 「PTA」

支援者 次長 小堀 雄二

内 容 ①「講演:子どもの学びを応援する地域の中核を担うPTAへの期待」

②分科会(3)全体講評

【テーマ】

子どもの未来のために向き合おう」

1部会 ネットとのつきあい方

2部会 これからのPTAの組織づくり

3部会 安心・安全な地域づくり

【成果】参加399名に、現代社会にいきる子供の実態(体験機会)を伝え、幼少期からの体験活動が子供の「生きる力」となり成長を育むこと、また、活動を支援する助成金制度「子どもゆめ基金」の活用方法について理解を深めることができた。



子どもの学びを応援する 地域の中核を担うPTAへの期待

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立大雪青少年交流の家 小堀 雄二



体験の風をおこそう



第57回帯広市PTA連合会

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道沼田町

事業名 平成25年度沼田町合宿通学事業

主催 沼田町合宿通学実行委員会

期 日 平成25年10月28日～11月2日

会 場 沼田町民体育館宿泊研修棟

参加者 小学校4年生～6年生（29名）

区 分 「通学合宿」

支援者 事業推進室 佐々木 智史
中島 麻緒

内 容 早寝早起き朝ごはん紙芝居・体操
遊びリンピック
スポーツレクリエーション

【テーマ】

- ・食事や買い物、洗濯、掃除を体験し、お家の人の苦労や支えを体感する。
- ・共同生活の中で、自分たちの創意工夫で楽しく充実した生活を創る。

【成果】

不慣れな家事を体験することで、普段規則正しく生活できていることへのありがたさを知り、家族へ感謝の気持ちを募らせていた。また、一人ひとりが欠けては困る存在となって共同生活を過ごすことから、自分の役目に進んで取り組む姿を増やしていた。



平成25年度沼田町 合宿通学事業

体験の風をおこそう

H25 重点地域

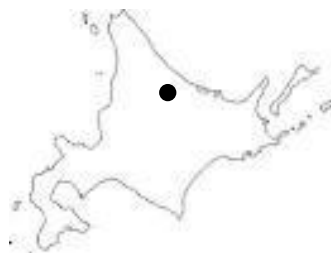
北海道滝上町

事業名 滝上町スポーツ推進委員等研修会
主 催 北海道「体験の風をおこそう」
運動推進協議会
期 日 平成25年11月3日(日)
会 場 滝上町スポーツセンター
参加者 小学生(36名)、
保護者・スポーツ推進委員(44名)
区 分 「体力向上」
支援者 企画指導専門職 英 洋一
事業推進室員 大畑 裕矢
内 容 コーディネーショントレーニング
遊びりんピック

【テーマ】

体験活動の普及
子供の体力向上
スポーツ活動の普及

【成果】小学生36名と推進委員や保護者が
44名参加し、遊びをとおして楽しみながら
体を動かす大切さを子供だけではなく、指
導者としての大人への普及ができた。



滝上町スポーツ推進委員等研修会

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道鷹栖町

事業名 鷹栖わくわくチャレンジ合宿
主催 鷹栖町通学合宿実行委員会
期 日 平成25年11月4日～11月7日
会 場 鷹栖町北斗住民センター
参加者 小学校4年生～6年生（22名）
区 分 「通学合宿」
支援者 次長 小堀 雄二
室長 佐藤 香
内 容 アイスブレイク遊びリン
ホワイトタイム企画
生活リズム向上の絵本・体操

【テーマ】

早寝早起き朝ごはん あさひにあいさつ
あさうち！
・ひとつ屋根の下の大家族

【成果】町内2小学校児童は、地域の方々の協力をえることで、コミュニティの輪が広がった。また、「一人はみんなのために」を合い言葉とした活動は様々な場面で「思いやり」の態度が見られ充実した期間を過ごした。



わくわくチャレンジ合宿

体験の風をおこそう

H25 重点地域

北海道新冠町

事業名 学び・遊ぶ・つうがく合宿
主催 新冠町通学合宿実行委員会
期 日 平成25年11月5日～11月9日
会 場 日高判官館青年の家
参加者 小学校4年生～6年生（19名）
区 分 「通学合宿」
支援者 室長 佐藤 香
事務補佐員 片倉 望
内 容 ニコニコ遊びリンピック
夜読（紙芝居・読み聞かせ）
生活リズム向上体操・栄養指導

【テーマ】

元気モリモリ健康づくり

時間・空間大切に

素敵発見

【成果】町内2小学校の児童は、地域の方々の支援で、集団生活の喜びや様々な生活体験から多くを学び得た。「5分前行動」を合い言葉に生活リズムの大切さにも気づくことにつながった。



学び・遊ぶ・つうがく合宿

体験の風をおこそう

H25 重点地域

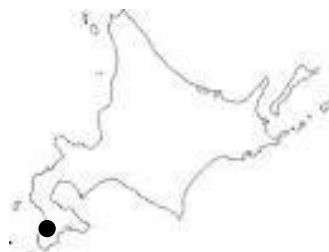
北海道木古内町

事業名 木古内町スポーツ少年団研修会
主催 木古内町教育委員会
木古内町スポーツ少年団
期日 平成25年11月16日(土)
会場 木古内町ファミリースポーツセンター
参加者 小学生(16名)、
保護者・指導者(5名)
区分 「体力向上」
支援者 次長 小堀 雄二
企画指導専門職 英 洋一
内容 遊びながらできる体力向上運動
遊びりんピック

【テーマ】

体験活動の普及
子供の体力向上
スポーツ活動の普及

【成果】小学生18名と指導者や引率者が3名参加した。遊びをとおして楽しみながら体を動かす大切さを子供だけではなく、指導者への普及ができた。



木古内町スポーツ少年団研修会

3 実施した事業や取り組みの内容

(1)「地域組織と連携した体験活動・読書推進」

上川町



事業名 上川町チビッ子
チャレンジランキン
主 催 上川町公民館
上川町子ども会育成連絡協議会
期 日 平成 26 年 10 月 4 日
会 場 上川町かみんぐホール
参加者 上川町の小学校 4～6 年生
内 容 しっぽ取り、カーリングダーツ等

『テーマ』
色々な遊びの記録に挑戦することで、目標達成のために全力で取り組む姿勢を育む。また、集団で遊ぶ楽しさを知ることや、異年齢間の子ども達相互の交流を図る。

『成果』
自分でやりやすい方法を考える時間を与えてゲームを行うことによって、より集中して取り組む姿勢がみられた。
普段読むことが減ってしまった絵本なども参加者とキャッチボールをしながら読むことで交流の輪が広がった。



上川町チビッ子チャレンジ

(2)「幼児期の遊び奨励と体力づくり運動推進」

滝川市



事業名 滝川幼稚園
早寝早起き朝ごはんデー
主 催 滝川幼稚園
期 日 平成 26 年 6 月 15 日
会 場 滝川幼稚園
参加者 滝川幼稚園 園児 53 名
内 容 早寝体操、紙芝居、他

『テーマ』
遊びリンピックや早寝早起き朝ごはん体操、タイケンジャーショーをとおして、子供たちの生活習慣の確立や体力の向上を図る。

『成果』
北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル深川と協働で「早寝早起き朝ごはん」の読み聞かせや体操を行い、生活リズムや体力の向上を図ることができた。



滝川幼稚園早寝早起き朝ごはんデー

(3)「長期休業中の生活リズム向上事業」

利尻富士町



事業名 利尻富士チャレンジ教室

主 催 利尻富士町教育委員会

期 日 平成 26 年 8 月 2 日～5 日

会 場 利尻富士町立鷺泊小学校

参加者 町内の小学生 110 名

内 容 遊びリンピック
創作しおり・缶バッジ作り
紙芝居

『テーマ』

長期休業中の子供たちを対象に行っている「チャレンジ教室」で遊びリンピックや創作活動を行うことで、体験活動の重要性について広く普及啓発を図る。

『成果』

参加した子どもは、町内の 80%にあたる 110 名。毎年、この事業を楽しみにしている。地域の産業形態から、放課後子ども教室は貴重な役割を担っている。指導員の資質能力は高く、きめ細かな指導が目立ち、しつても含めた指導をととして子供たちを育てている様子が伝わった。




「体験の風をおこそう」運動
重点地域

利尻富士チャレンジ教室

(4)「地元報道機関と連携した次世代青少年リーダー層の発掘及び体験活動普及啓発事業」

(5)「HOKKAIDO 体験活動見本市」

- ◇実施期間 10/26(日)
- ◇会 場 札幌地下街オーロラタウンオーロラスクエア
- ◇北海道青少年教育施設協議会加盟 13 施設との協働
(体験ブース、パネル展示、普及啓発マスコットキャラクター・・・)
- ◇参加者数 337 名



～札幌地下街オーロラタウンで 13 の北海道青少年教育施設が体験・展示ブースを展開～

体験の風をおこそう

(6)「北海道子ども遊び体験&ブックフェスティバル」



びえい図書館フェスティバルでは、クラフト体験ブースを提供
また、北海道教育委員会の「朝読」「家読」キャラクターの「ぶっくん」による読書啓発

(7)協議会加盟施設が本運動の趣旨に則り、本運動を推進するための事業(講演会、フォーラム、シンポジウム等)を実施する場合、その経費の一部を負担する。

鷹栖町



事業名 鷹栖町通学合宿
主 催 鷹栖町教育委員会
期 日 平成 26 年 11 月 3～4 日
会 場 北斗地区住民センター
参加者 鷹栖町小学生 15 名
内 容 調理体験、共同生活体験

『テーマ』
協力して共同生活体験をすることで、友達の新たな一面を発見したり、新しいものの見方ができるようになったりすることを目指すとともに、生活リズムの向上を図る。

『成果』
他の学校、異学年の交流活動をととして、友達同士のコミュニケーションのとり方について学ぶことができた。
食事づくり(調理体験)に取り組むことをととして、バランスの良い食事づくりについて学ぶことができた。



体験の風をおこそう

本別町



事業名 本別町放課後子供教室
主 催 本別町教育委員会
期 日 平成26年7月8日
会 場 本別町児童会館ゆーたり
参加者 本別町小学生16名
内 容 早寝体操、紙芝居
伍バッチ製作、読み聞かせ

『テーマ』

早寝早起き朝ごはん体操や読み聞かせによる生活習慣、読書習慣の定着。また、創作活動を通して、友達との協力性や考える力を育成する。

『成果』

早寝早起き朝ごはんの紙芝居を真剣に聞く姿が見られ、大切さを教えることができた。

缶バッジ製作では、自分のオリジナル缶バッジを自分の手で作れたことでもの大切さを伝えることができた。



(8)(9)(10)「体験の風をおこそう」運動または体験活動の普及啓発事業

・北海道「体験の風をおこそう」運動推進事業



～推進月間の10月、美瑛町役場に超特大懸垂幕設置～

体験の風をおこそう

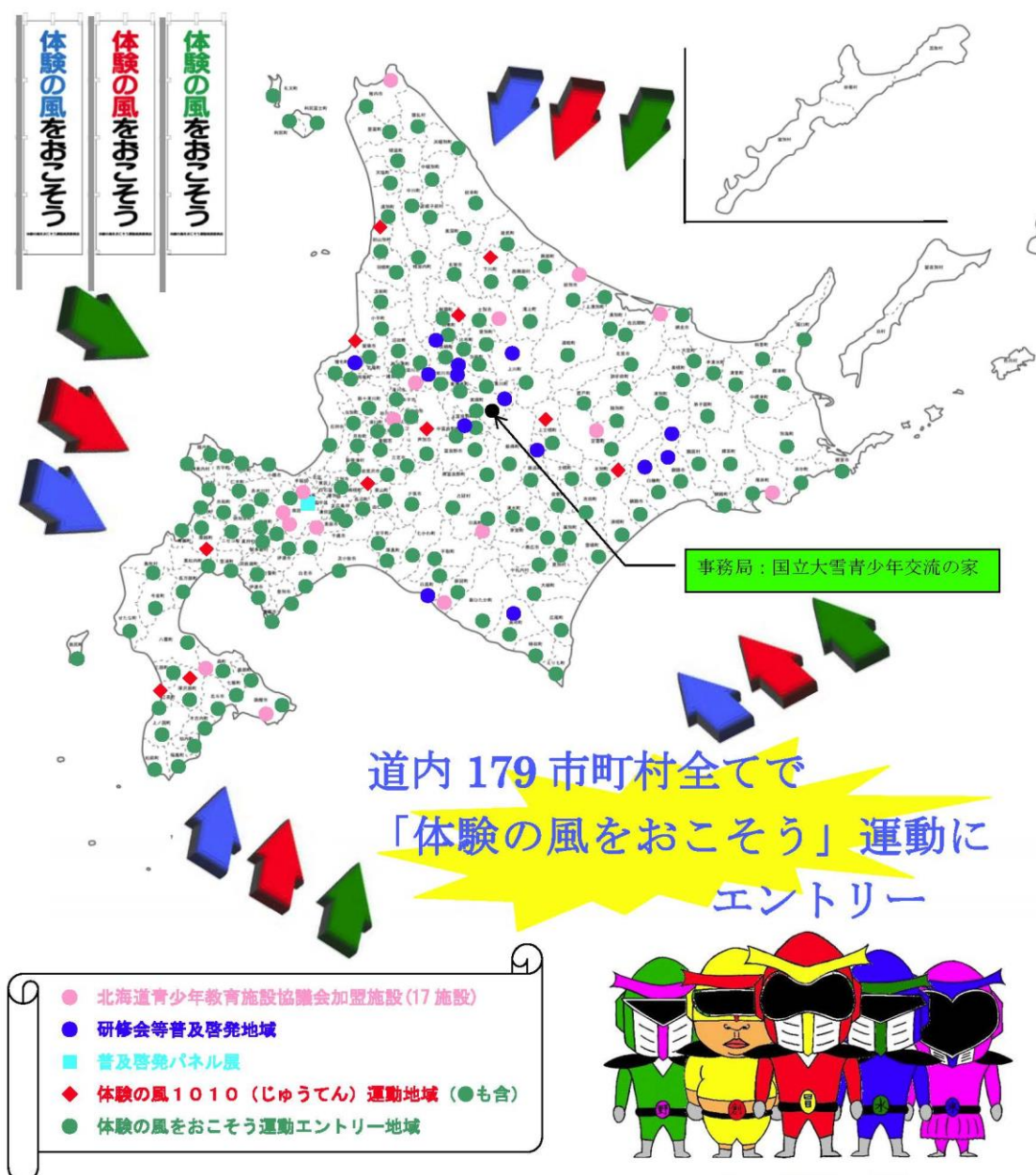
◎体験の風をおこそう」運動エントリー数 446 事業

市町村エントリー数 179市町村全て(100%)でエントリー(25年度は152市町村85%)

◎ 「子ども体験遊びリンピック」エントリー数 130 事業

※ 平成 23 年度→9 事業 (4.8%) 平成 24 年度→124 事業 (38.3%) 平成 25 年度→357 事業 (3%)

平成26年度「体験の風をおこそう」普及推進状況



挑戦戦隊
タイテンジャ

北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会

体験の風をおこそう

(6) 道内子ども会・PTA・スポーツ推進団体等の組織への同運動普及啓発

